

認知症地域支援体制推進 全国合同セミナーのねらいと進め方

認知症とともに希望をもって暮らす
共生社会に向けた地域支援体制を築いていくために

認知症介護研究・研修東京センター





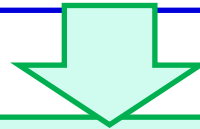
全国、それぞれの地域で人が暮らし、つながり、文化がある。

認知症とともに生きる：各自治体ならではの「共生社会」を築く一步一步を着実に

認知症地域支援体制推進
全国合同セミナーのねらい

全国それぞれの自治体ならではの**共生社会の実現を**
着実・持続発展的に進めていくために

- ・国の認知症施策の最新情報を知る
- ・他自治体の構想・行政役割、進め方・工夫等の情報を知る
- ・認知症当事者の声を聴く(サプライズトーク)



- ◆方向性・方針・焦点、ポイントの確認
- ◆自治体/地域を振り返り、今後の補強点・改良点を見出す機会に
- ◆日頃の疑問点・課題を解消し、不安・負荷を減らす一助に
- ◆他自治体の関係者をつながるきっかけに

認知症地域支援体制推進 全国合同セミナーの進め方

本日

- ・認知症施策の最新情報を知る
- ・他の自治体の取組報告をきく
- ・本人からのメッセージをきく

認知症施策の

- ・方向性、考え方
 - ・焦点、進め方、工夫等
- の参考情報を得る。

施策担当者等が

★自地域の今後のあり方・補強策等を具体的に考える。

★各自治体/地域で

職場内・地域で

* 情報共有

* 対話・討議

方向性・焦点を確認
進め方・補強策を検討

* **今後に向けて
より効果的な取組を
推進・加速**

全国の担当者同士のネットワーキング

セミナー後にこそつながりあって
情報・資料共有、相談、相互応援

- * zoom画面下の「Q&A」より、報告者への質問や情報を、どうぞお寄せ下さい。
- * セミナーの時間が限られ、回答しきれない場合、後日、Q&Aをまとめて、当センターのホームページDCネットに掲載いたします。

2023年度 全国合同セミナー 今回の位置づけ

2000

2010

2020

今回

2030

2040

コロナ
禍

- ・ 超高齢化の進展→
- ・ 認知症は「ありふれた状態」
- ・ 感染症、自然災害の頻発

現場・自治体でたくさんの試行錯誤

* 施策の進展：関係者の広がり・複雑化

見直し・改良

2019認知症施策
推進大綱

共生社会の実現
を推進するための
認知症基本法

2023年 6月14日成立
2024年 1月 1日施行

< 今回のセミナー >

- ・ 最新情報 ・ 知見
- ⇒ ・ 方向性と焦点、
行政役割等の確認
- ・ 補強点 ・ 改良点

* 地元で

- ・ 共有 ・ 対話
- ・ 施策、取組に
反映

各自治体ならではの取組を
持続・発展的に

めざす姿の実現に向けて取組を着実に進めよう:市町村-都道府県-国が重層的に

(元気な頃から) **地域の中で希望を語りあい、活躍しながら自分らしく生きる** (最期まで)



共生

認知症があってもなくても同じ社会の一員として共に暮らし、活力ある地域を共創

市 町 村

固有の風土・文化・社会資源を大切に活かしながら
わがまちならではの、持続発展的な地域支援体制をともに築いていく

都 道 府 県

それぞれの市町村が自地域にあった施策・取組を展開していける推進
環境整備・バックアップ

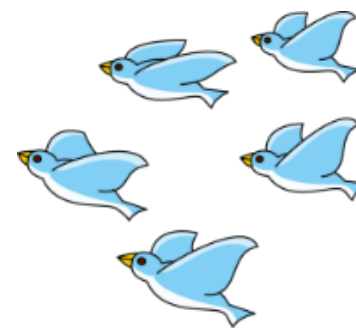
国:厚生労働省、関係省庁、内閣

＜共生社会の実現を推進するための認知症基本法＞

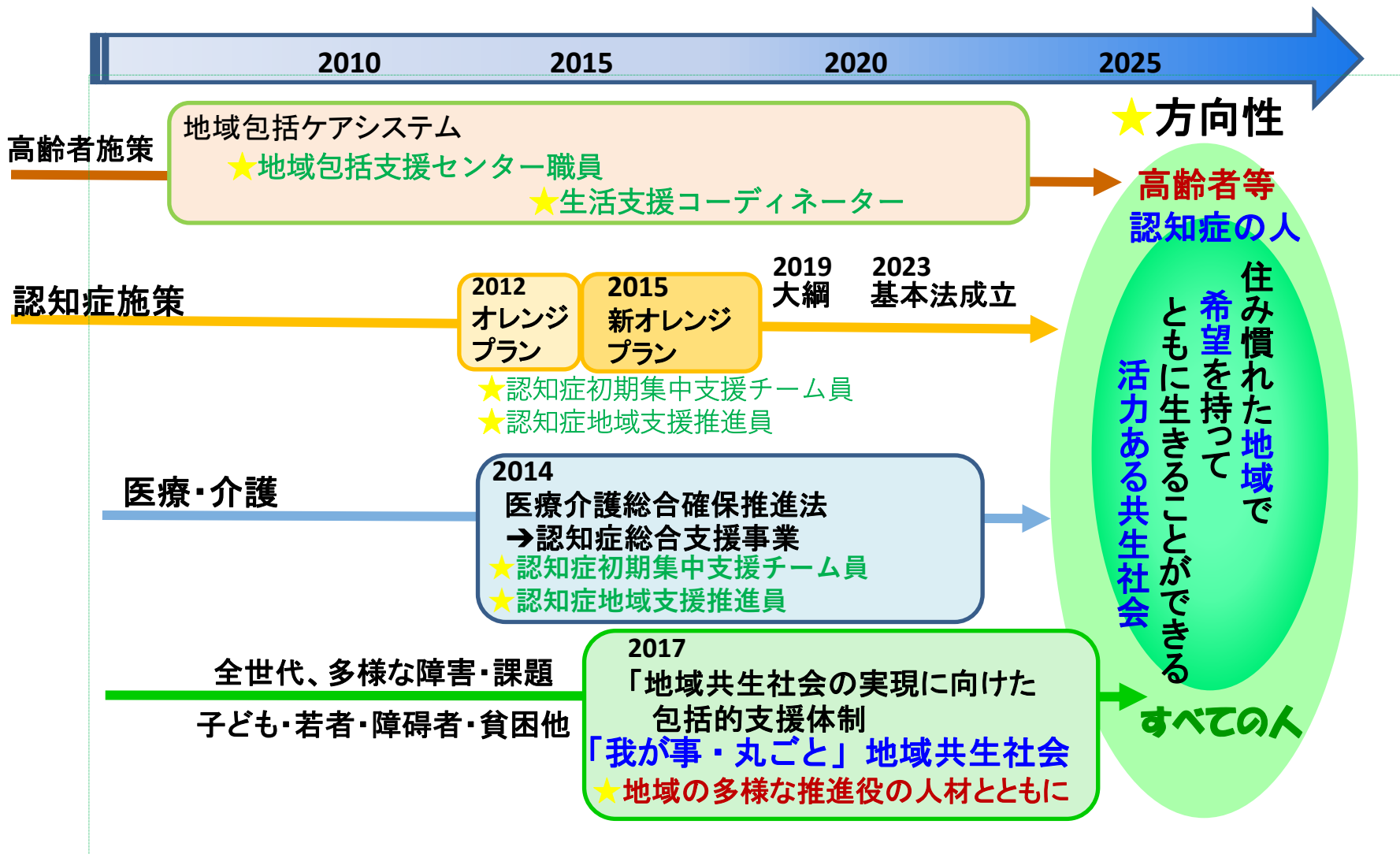
都道府県・市町村の施策・取組を推進・環境整備・バックアップ

参 考 情 報

* 施策担当者が、方向性・焦点を見定めて、舵取りを



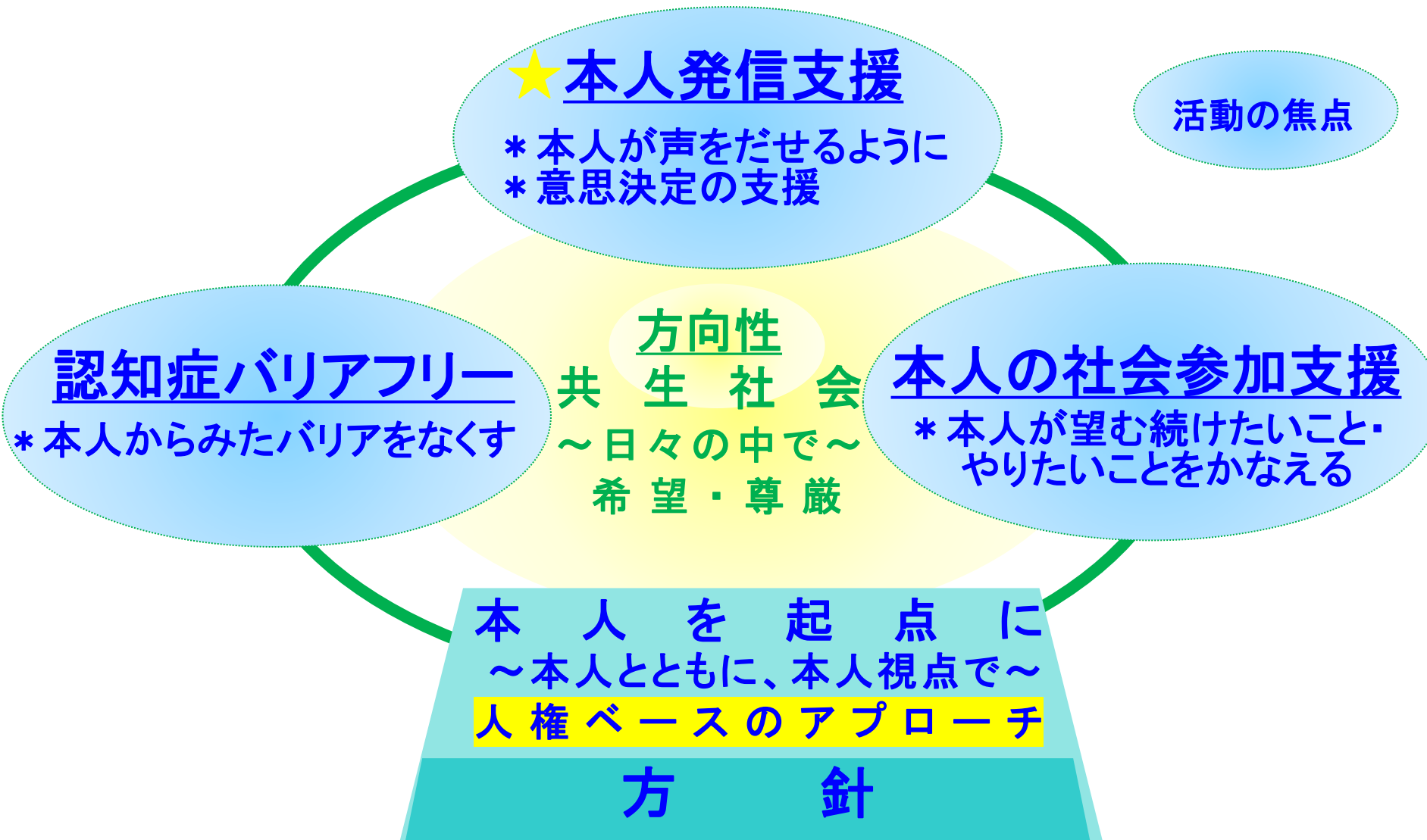
方向性：認知症のみではなく、地域の多様な領域とともに共生をめざす



★地域に、共生に向けた実働を地道にしている人たちが豊富にいる

認知症とともに生きる「地域共生」→地域のすべての人たちの地域共生の基盤・触媒になる

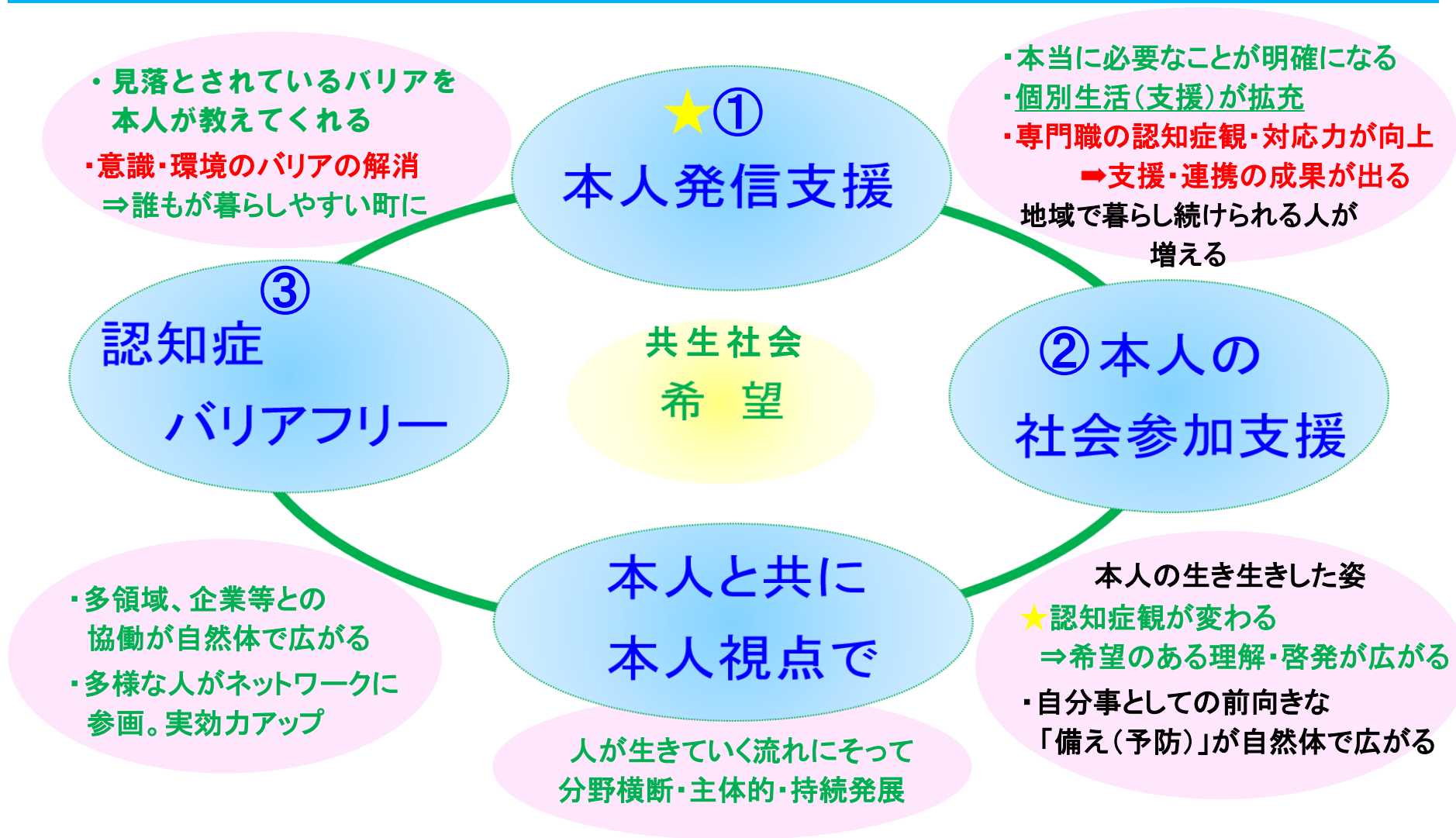
これからの方向性と方針・焦点(注力すべきこと)は・・・



自分だったら・・・そうあってほしい、あたりまえのこと

*** 事業・活動を焦点化すると、付加価値(波及効果)大**

焦点に注力していくことで、付加価値(波及効果)が大



* 焦点に注力⇒本人の自立、安心・自信(存在不安の解消)・安定⇒進行予防につながる

★本人の変化が見えやすい⇒理解、協働の輪が自然体で広がる

⇒楽しさ・やりがい、共生を実感・共有できる⇒活動が自発的に持続発展していく

人が、自分らしくあたりまえに暮らし続けるために本人発信が不可欠



今日食べたい一品は・・・



好みの髪型・色は・・・



行きたい場所へ・・・



住みたい場は・・・

その他、さまざま・・・

- ★誰だって、「物言えないと、腹ふくるる」。 ➡ BPSD（行動心理症状）の重要な要因
体調悪化の要因でもある。
- ★自分らしさは、百人百様。本人が発信することは、自分らしさを保つ鍵。
➡ 認知症になってこそ、より重要。
- ★家族や、専門職であっても、本人（自分）の真意はわからない。
- ★本人が自分の人生の主人公。本人発信・自己表現は人としてあたりまえのこと
（基本的人権）

誰だってあたりまえのことが、認知症になってからも守られるように

本人発信：地域共生をみんなで共に築いていくための鍵



1) 人が、自分らしく
あたりまえに
暮らし続けるために

2) 認知機能が低下している人
だからこそ、発信力を保ち・
伸ばすために

本人発信

3) 古い常識を払拭し、
新しい常識の普及啓発を着実に
広げ、自分ごととして考え、
前向きに暮らしていく人を
増やすために

4) 本人の理解を深め、
本人にとって必要なことを知り、
適切な関わり・支援、施策を
効果的に展開していくために

5) 専門職・行政はもとより、
地域の多様な人たちが、
今、ここで、本人が必要なことを知り
ともに暮らしやすいまち（共生社会）
を自然体でスムーズに
築いていくために

地域 みんなが方向性と方針・焦点を共有しながら、ともに

★方向性

希望をもって日常生活を過ごせる

わがまちならではの地域共生（日々の中で実現を）

★方針: 本人を起点に 本人とともに(本人抜きで進めない)

本人視点で 本人の声と力を活かして

* 人権を基本に 認知症が軽度～最重度まで、どんな人にも(困難例こそ)

★焦点: 本人発信支援—本人の社会参加支援—認知症バリアフリー

質の向上

質の向上

相談
個別
支援

診断
医療
サービス

ピアサポート
本人ミーティ
ング

認知症
カフェ
集い場

本人と
家族の
一体的
支援

初期
集中
支援

見守り・
SOS
体制作り

権利
擁護
事業

地域ケア
会議
個別検討

介護
サービ
ス・人材

多職種
研修

認知症
ケアパス
改良・活
用 その他

施策: 地域にあるものを活かし、本人を起点に連動・統合を促進

啓子保 発一健 (ムサオポレ) ンタジ ー 養 成 講 座 等)
保 健 活 動 ・ 健 康 ・ 予 防 教 室 等

地域固有の風土・文化・資源・つながり等

どのまちにも、本人がいる！ 支援関係者が日々、本人とともに！
いつかそのうち・・・ではなく、日々の中で、地域共生を実現中！

～小さなまちでも、大きなまちでも～

本人視点、本人の声を大切に、ともに、希望を
人・場・こと・事業をつなげながら

啓発・
本人発信支援



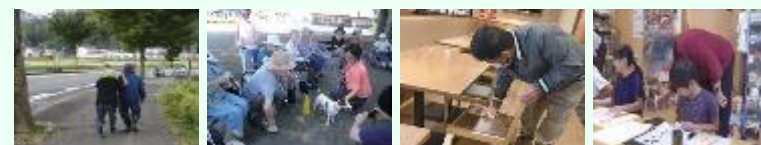
予防
(備え)



医療・ケア・
介護サービ
ス・介護者へ
の支援



認知症バリア
フリーの推進・
若年性認知症の
人への支援・
社会参加支援



目指すは、わがまちなりの”地域共生“



認知症地域支援推進員
活動情報集
【地域共生編】

動画もあり！
*DCネットで検索を

地域共生を、具体的・効果的に推進するための具体策として

「希望をかなえるヘルプカード」を、あなたのまちでも

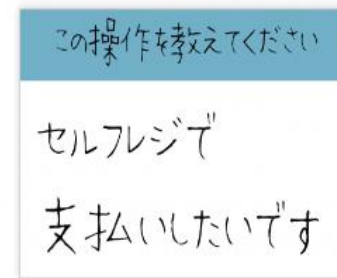
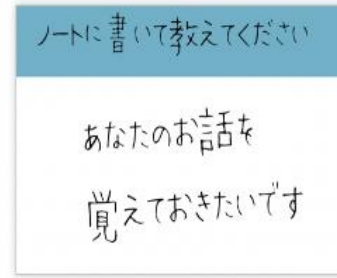
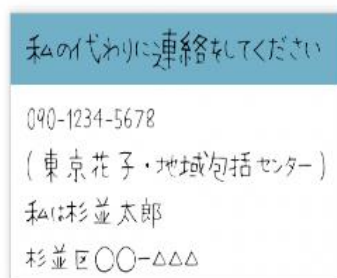
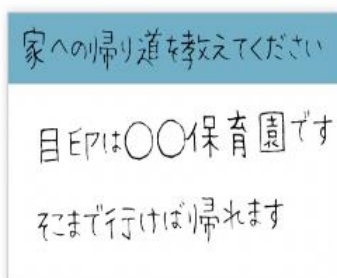
- * 本人が望んでいること(やりたいことや続けたいことなど)を、安心してスムーズにできるために、本人が使うカードです。
- * 周りの人に自分が望むことやちょっとわかってほしいこと、お願いしたいことを書いておき、必要な時にだけ見せて使います。



カード表面、本人が持ちたいものを本人が選んで利用します。地域版のカード作成も。

本人発信-社会参加-認知症バリアジロー:地域共生を 具体的・一体的に進めていくための有効なツール

事例:「希望をかなえるヘルプカード」に書きたい内容は、百人百様



- ★大綱では、「ヘルプカード」を2025年までに自治体で普及・利用促進することとされています。
- ★認知症地域支援推進員等が、このカードの実践的な普及を始めています。

希望をかなえるヘルプカード

検索



希望をかなえるヘルプカード
スタートガイド2021

※A4版、
※8つのチャレンジレポート付き



カードのサンプル(ひな型)

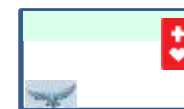


よく使われる内容をもとにした記入例

記入用カード



白紙(マーク無し)



白紙(マーク入り)

広報用のちらし (A4版)



広報用の動画 (5分)



★あくまで道具：本人が自分の望む暮らしを続けていくことがねらい。
使いながら、小さな望みを大切にしよう仲間、理解者が
まちの中で一人、また一人と広がっていきます。

東京センターのホームページ [Dcnetの推進員ページ](#)をご活用ください。

*** 研修情報、* 報告会等のお知らせ、当日資料、Q&Aの集約など**

<https://www.dcnet.gr.jp/suishinin/>

認知症介護指導者 /実践者等養成	各種研修事業	研究情報	研究成果物 学習支援情報	研究報告書検索 地域実践事例検索	行政情報	
---------------------	--------	------	-----------------	---------------------	------	--

認知症地域支援推進員

認知症地域支援推進員(推進員)の育成やネットワーキング、活動の支援を行っています。



認知症地域支援 推進員とは	認知症地域支援 推進員研修	研修資料	参考資料 動画資料
すいしんいん セッション オンラインセミナー	推進員通信	すいしんいん ネット	イベント等 のお知らせ

全国認知症地域支援推進員連絡会 ～ すいしんいんネット ～

「推進員になったけど、これからどうすればいいの？」

「先進的な取り組みをいっぱい知りたいな～」

「地元だけじゃなく、全国の仲間とつながりたい！」

このような希望を叶えるため、

「**全国認知症地域支援推進連絡会 ～すいしんいんネット～**」を
立ち上げました！！

facebook のアカウントをお持ちの方、

全国の推進員とこの機会に交流しませんか！

又、Facebookをされていない方もこの機会に始めてみませんか？

「すいしんいんネット」と検索いただくか、QRコードを
読み取り、申請後、承認されれば仲間入りです！！



「**認知症地域支援推進員に限定していますが、
後方支援する自治体等の方もご参加ください。**」

すいしんいんネットに関するお問い合わせは

[suishinin.net@gmail.com] まで。

■ **全国認知症地域支援推進員連絡会 事務局** ■

施策・事業を発展的に変えていくために インパクトのある既存資材を地域でフルに活かそう



認知症とともに生きる希望宣言
リーフレット



本人にとっての
よりよい暮らし
ガイド
(小冊子)

厚労省

認知症本人大使
「希望大使」

本人からの
メッセージ
(短い動画)

* 厚労省 ホームページ

* 入手は、日本認知症本人ワーキンググループ
office@jdwg.org

<参考情報>

① 「認知症とともに生きるまち大賞」 (NHK厚生文化事業団)

* 地域共生の具体的な実例を、わかりやすく、リアルな映像で紹介

検索 ⇒ 認知症とともに生きるまち大賞

② 地域の若い世代、多様な人たちに、新しい認知症観を伝えるために

* 「オレンジ・ランプ」 実在の人物をもとに作成された映画



主演: 貫地谷しほり・和田正人

2023年度公開

地域の啓発イベント等でも、上映可能

検索⇒ 映画 オレンジ・ランプ公式サイト